

2017年1月19日
富士火災海上保険株式会社

富士火災Presents

「スーパーキッズ・オーケストラ」～2017ニューイヤー・ミニコンサート～
ー 地域社会への貢献と音楽を通じて子どもたちの未来を育むことを目的に実施 ー

富士火災海上保険株式会社(代表取締役社長兼CEO:横山 隆美)は、2017年1月13日(金)グランフロント大阪 ナレッジシアターにて、日本を代表する指揮者 佐渡 裕(さど ゆたか)氏がプロデュースする子どもたちの弦楽合奏団「スーパーキッズ・オーケストラ」のニューイヤー・ミニコンサートを開催いたしました。

当社の創立90周年を記念し、2008年よりCSR活動の一環として「佐渡 裕とSKOプロジェクト」の協賛をスタート。毎年夏に開催される兵庫県立芸術文化センターでのオーケストラコンサート協賛に加え、翌2009年から毎年1月に、年齢制限無く、小さな子どもたちも一緒になって良質の音楽に触れることができる機会として、ミニコンサートを開催してきました。2016年夏にAIGグループ各社が大阪の主な拠点をグランフロント大阪に移転して初めての開催となる今回は、会場をグランフロント大阪のナレッジシアターに移し、代理店の皆さまやAIGグループ(AIG ジャパン・ホールディングス株式会社、AIU 損害保険株式会社、富士火災海上保険株式会社、アメリカンホーム医療・損害保険株式会社、AIG 富士生命保険株式会社等)の社員等約380名が集い、共に楽しみました。

今回のミニコンサートの冒頭では、サプライズで佐渡 裕氏が登場。ホルストの「セントポール組曲より 第1楽章」を指揮しました。その後、加藤 完二氏指揮のもと、モリコーネの「ニュー・シネマ・パラダイス」といった映画の名曲から、“となりのトトロ”の「さんぽ」や「ネコバス」といった子どもも楽しめる曲、そして、チャイコフスキーの「弦楽セレナーデ」といったクラシックの定番まで、幅広いジャンルの全9曲(アンコール2曲含む)が演奏されました。会場の中から選ばれた1名のお子さんが舞台上で指揮者を体験するコーナーや、観客も身体を動かしながら楽しめる「幸せなら手をたたこう」の演奏など、演奏者を含む会場全体が一体となって楽しめるイベントとなりました。

当社は、今後も地域社会における芸術・文化活動の振興を支援し、心が豊かな社会づくりに貢献してまいります。

富士火災Presents「スーパーキッズ・オーケストラ」～2017ニューイヤー・ミニコンサート～概要

- 日時： 2017年1月13日(金) 19:00~20:00
- 場所： グランフロント大阪 北館4F ナレッジシアター
(大阪市北区大深町3-1)
- 主催： 富士火災海上保険株式会社
- 出演： 指揮 加藤 完二 氏
- 演奏： スーパーキッズ・オーケストラの皆さん

- 演奏曲：
 - セントポール組曲より第1楽章(ホルスト)
 - ニュー・シネマ・パラダイス(モリコーネ:池田明子編曲)
 - アイネ・クライネ・ナハト・ムジク(モーツァルト)
 - 幸せなら手をたたこう(池田明子編曲)
 - となりのトトロより「さんぽ」「ネコバス」「メインテーマ」(久石譲:池田明子編曲)
 - 弦楽セレナーデより第1楽章(チャイコフスキー)
 - リュートのための古風な舞曲とアリア第3組曲より
「シチリアーナ」「パッサカリア」(レスピーギ)
- ～アンコール～
- フィドル・ファドル(アンダーソン)
- リバーダンス(ウィーラン)

コンサート当日の様子



佐渡氏指揮のもと真剣な表情で演奏するスーパーキッズ



加藤氏指導による指揮者体験



観客と一体となって盛り上がった「幸せなら手をたたこう」

『佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ』とは

世界のマエストロ、日本を代表する指揮者 佐渡裕氏がプロデュースする『スーパーキッズ・オーケストラ』は、“夢をもった大人の、子どもたちへの真剣なプロジェクト”として2002年に誕生しました。メンバーは兵庫県立芸術文化センター芸術監督を務める佐渡氏とプロジェクトメンバーの指揮者・加藤完二氏、そして佐渡氏自らがオーディションで選抜した“小学生から高校生までの子どもたちだけの弦楽合奏団”です。彼らは佐渡氏、加藤氏らの指導のもと、そのずば抜けた音楽の才能を余すことなく発揮して、聴くものの心に響く音楽、音楽で人を楽しませる『よろこび』を創りあげてきました。次世代を担う彼らにとってこの体験は“未来への大きな宝もの”となっていくでしょう。佐渡氏とともに数多くの方に“音楽の喜び”を伝え続けるスーパーキッズ。2017年も『佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ』の更なる飛躍が期待されています。